

ノ條件ヲ審査スルニ止マルコトハ彼ノ選舉ノ手續ニ關シテハ選舉法第二十六條第二十七條第五十二條第六十八條等ノ設ケアリテ或ハ始審裁判所或ハ控訴院ニ投票ノ手續又ハ效力ヲ判決セシメ判然立法司法ノ區別ヲ立テタルヨリ推測シ得ヘシ

第三 投票ノ有效無効ヲ審査セントスレハ勢ヒ其ノ事實ヲ求ムルカ爲ニ人民ヲ召喚シ又ハ議員ヲ派出シテ先ツ其ノ事實ノ眞僞ヲ審査セサルヘカラス然ルニ議院法第七十三條ニ「各議院ハ審査ノ爲ニ人民ヲ召喚シ及議員ヲ派出スルコトヲ得ス」トアリテ議院ハ其ノ手續ヲ盡ス能ハス是レ衆議院ハ其ノ議員タル資格ノ有無ヲ法律ニ據リ審査スルノ職權アルモ事實ニ據リ投票ノ有效無効ヲ審査判定スルノ權限ナキ確證ナリ

第四 貴族院令第九條ニ「貴族院ハ其ノ議員ノ資格及選舉ニ關スル争訟ヲ判決ス」トアリテ議員ノ資格ト選舉トハ判然タル區別アリ而シテ議院法第七十八條ニハ單ニ衆議院ニ於テ議員ノ資格ニ付云々トアリ然ラハ衆議院ハ選舉ノ事ヲ判定スヘキ權限ナキコト明カナリ

第五 衆議院ニ其ノ議員ノ選舉手續ニ關スル判定權アリトセハ貴族院議員資格及選舉争訟判決規則ノ如キ規定ナカルヘカラス然ルニ其ノ規定ナキハ其ノ權限ナキ一證ナリ

第六 選舉法第七十八條ニ當選訴訟ノ期限ヲ制限シテ當選人ノ姓名告示ノ日ヨリ三十日以内トセリ若シ選舉ノ有效無効ノコトヲ資格審査トシテ衆議院カ判定スルノ權限アリトスレハ

何時ニテモ議員ヨリ異議ノ申立アルニ於テハ當選ノ有效無効ヲ判定シ得ヘキモノトナリ三十日ノ制限ハ實際冗文トナルヘシ立法者ノ立法ノ精神豈ニ如斯冗文ヲ設クルモノト解釋スルヲ得ンヤ若シ此ノ七十八條ヲ有效ナラシムル様解釋スレハ衆議院ニ於テ資格審査ヲ名トシ投票ノ有效無効ヲ判定スヘキ權限ナキモノトセサルヘカラス

第七 憲法議院法選舉法等ノ大體ヨリ解釋スレハ選舉ノ手續ヲ履行スルハ行政部内ニ屬シ選舉手續ノ有效無効ヲ判決スルハ司法部内ニ屬シ正當ノ手續ヲ履ミ議員トナリタル後其ノ人ノ議員タル資格即チ身分ヲ具備スルヤ否及其ノ資格ヲ失ハサルヤ否ヲ審査スルノ權ハ議會其レ自身ニ屬シ三種各區分ヲ爲ササルヘカラス而シテ選舉ノ手續即チ投票ノ有效無効ヲ判決スルハ其ノ性質司法ノ權内ニ屬スヘキモノナリ

第八 選舉ノ手續ニ付議院ト裁判所ト牴觸シタル場合ニ如何ナル手續ヲ履ムヘキヤノ規定ナシ今若シ同一ナル選舉ノ手續ニ付裁判所モ衆議院モ判定ノ權限アリトセハ雙方ノ意見牴觸スル場合ニ如何トモスル能ハス蓋シ如斯不都合ナル規定ヲ立法官ニ於テ設ケタルモノト解釋スヘカラス果シテ然ラハ選舉ノ手續及投票ノ效力等ニ付裁判所カ判定ノ權限アリトスレハ衆議院ハ其ノ判定ノ權限ナキヲ推測シ得ヘシ

第九 投票有效無効ハ單ニ被選人タル議員ノ權利ノミニ關係スルモノト看做スヘカラス之ヲ

投票シタル選舉人ノ選舉權ノ消長ニ影響スルコト大ナリ若シ衆議院ニ投票ノ有效無効ヲ判定スヘキ權限アリトスレハ衆議院ハ議院ノ外ニ於テ選舉人ノ權利ニ就キ裁判權ヲ有シ其ノ權利ヲ消長シ得ヘキモノトナルヘシ衆議院カ院外人ノ權利ヲ裁判スルカ如キハ決シテ爲シ能ハサルナリ

(二)赤松新右衛門君資格審査ノ件(同上)

一本案ハ明治二十三年七月一日茨城縣第四區衆議院議員選舉會ニ於テ選舉長ハ森隆介君ノ得點六百二十一點ヲ以テ最高點ヲ得タルモノト宣告シ同年七月六日同縣知事ハ其ノ當選確定ノ告示ヲ發シ尙同月十一日當選證ヲ森隆介君ニ付與シタリシカ是レヨリ先キ選舉長カ明治二十三年七月三日赤松新右衛門君ノ得點ニ係ル投票廿七點ヲ無効ト決定シ及投票一點ヲ他人ノ得點ニ計入シ合計廿八點ヲ減シタルニ付新井球三郎君外一名ハ其處分ニ付異議ヲ爲シ同月九日選舉長ヲ對手トシテ投票效力決定ノ件ヲ水戸始審裁判所下妻支廳ヘ起訴シ水戸始審裁判所下妻支廳ハ同月廿二日右廿八票ヲ以テ何レモ赤松新右衛門君ノ得點ト判定シタルヲ以テ赤松新右衛門君ノ得點ノ合計六百三十七點トナリ森隆介君ノ得點ニ勝サル十六點トナルノ結果ヲ生シタリ

一選舉長長河田景雄君ハ明治廿三年七月廿四日前項ノ結果及赤松新右衛門君ノ當選人タル

コトヲ茨城縣知事安田定則君ニ届出テ明治廿三年八月一日茨城縣知事安田定則君ハ一方ニ於テ森隆介君ノ當選ヲ取消シ一方ニ於テハ赤松新右衛門君ノ當選ヲ告示シ同人へ當選狀ヲ付與シタリ

一森隆介君ハ前項ニ掲ケタル茨城縣知事ノ取消處分ヲ不法トシ明治二十三年八月日未詳東京控訴院ヘ不法告示取消ノ訴訟ヲ提起セリ然ルニ東京控訴院ハ茨城縣知事カ森隆介君當選告示ヲ取消シタルハ不法ニアラスト判決セリ

一本案ニ於テ論争スル處ハ異議申立書及答辯書ニ審カナル如ク左ノ數項ニ外ナラス

第一 行政官カ一旦當選確定ノ告示ヲナシ當選狀ヲ付與シタル後他ニ高點者アリトシテ其處分ヲ取消スノ權限アリヤ否ヤ

第二 東京控訴院ニ於テ内閣ノ裁可ヲ經スシテ茨城縣知事ノ當選取消處分ヲ不當ニアラスト裁判セシハ正當ナリヤ否ヤ

第三 茨城縣知事ノ當選取消處分及東京控訴院ノ裁判ニ依リ其取消處分ヲ正當ナリト認めラレタルニ係ラス森隆介君ニ於テ當選狀ヲ有スル以上ハ當選訴訟ヲ以テ取消ササルニ非ラサレハ當選者ト認ム可キヤ否ヤ

以上ノ論點ヲ按スルニ第一第二ハ何レモ當選ノ手續ニ付キ行政官ノナシタル行政處分ノ當

否司法官ノナシタル裁判ノ正當不正當ニ付キ争フモノ又ハ第三ハ行政司法ノ處分ヨリ及ホシテ當選ノ效力如何ヲ論スルモノニ止リ議員ノ資格即チ議員ノ具フヘキ必要ノ條件ヲ具備スルヤ否ヤニ付異議アルモノト認メサルニ付キ本院ハ之ヲ議員ノ資格トシテ議院法第七十八條ニ依リ審査スヘキ限リニアラストス何トナレハ若シ夫レ議院法第七十八條ニ所謂議員ノ資格ナル文字中ニ正當ナル選舉手續有效ナル投票ノ多數等當選ニ關スル一切ノ事柄ヲ包含スルモノトシ本案争點ノ如キ行政官ノ行政處分ノ當否司法官ノ確定裁判ノ正當不正當迄ヲ審査スルニ至テハ單ニ議員而已ノ權利ニ關セス行政官ノ行政權限司法官ノ裁判ノ效力ヲ左右スルニ至リ三權分立ノ精神ニ背反スルニ至ル可ク立法ノ精神決シテ如斯キモノト解釋スルヲ得サレハナリ

議員資格ニ關スル裁判確定ノ通報方ニ關スル回答

議員資格ニ關スル裁判ノ言渡通報方ニ關シ林田書記官長ヨリ平沼司法省民刑局長へ照會ニ對スル回答

衆議院議員ニシテ禁治産準禁治産ノ宣告ヲ受ケ其ノ裁判效力ヲ生シタルトキ家資分産又ハ破産ノ宣告確定シタルトキ及禁錮以上ノ刑ノ言渡ヲ受ケタル場合ニ於テ貴官ニ通報方ノ儀ニ付本日別紙

寫ノ通裁判所ニ訓令相成候條右様御了知相成度此段及通牒候也

(別紙)

司法省民刑甲第五一號

裁判所

衆議院議員ニシテ左記第一乃至第三ノ各號ノ所ニ該當スルモノアルトキハ第一第二ニ付テハ確定ノ裁判ヲ爲シタル裁判所ノ長又第三ニ付テハ其ノ言渡ヲ爲シタル裁判所ノ長(區裁判所ノ一人ノ判事又ハ監督判事ヲ包含ス)ヨリ其都度速ニ衆議院書記官長ニ通報スヘシ

右訓令ス

明治四十二年三月五日

司法大臣 子爵 岡部長 職

左記

- 一、禁治産又ハ準禁治産宣告ヲ受ケ其裁判效力ヲ生シタルトキ
- 二、家資分散又ハ破産ノ宣告確定シタルトキ
- 三、禁錮以上ノ刑ノ言渡ヲ受ケタルトキ

(此ノ項ハ明治四十三年法律第六十號ヲ以テ衆議院議員選舉法第十一條第四號削除ノ結果

附錄 一〇 議員資格ニ關スル報告書並照會往復 (一)

同年十一月九日司法省民刑丙第四四六一號ニ依リ「禁錮以上ノ刑ノ言渡確定シタルトキ」ニ
訂正)

四、帝國議會閉會中選舉訴訟若ハ當選訴訟ニ關スル裁判確定シタルトキ

(此ノ項ハ大正五年十一月九日司法省法務局民第一七〇一號ニテ追加)

五、衆議院議員選舉法第一百一條ニ該當スルトキ及同法ニ依ル選舉犯罪ニ依リ罰金ノ刑ニ處セラ
レ被選舉人タルコトヲ禁スルノ裁判確定シタルトキ

(此ノ項ハ大正八年十二月二十四日司法省刑事局刑甲第一四五五號ニテ追加)

(三) 補闕選舉ノ請求ニ關スル照會及回答

林田書記官長ヨリ内務次官宛照會(明治四十二年六月十八日)

衆議院議員ニシテ選舉訴訟若ハ當選訴訟ノ結果ニ依リ當選無効トナリタルトキ又ハ其選舉ニ關
スル罰則ニ依リ處罰セラレタル結果當選無効トナリタルトキハ選舉ノ日ヨリ一箇年以内ナルト
以後ナルトニ不拘衆議院議員選舉法第七十條ニ依リ直ニ補充ノ手續ヲ爲スヘキモノニシテ議院
法第八十四條ニ依リ衆議院議長ヨリ補闕ノ請求ヲ爲スヲ要セサル儀ト存候得共爲念御省議承知
致度此段及御照會候也

右照會ニ對シ内務次官ノ回答(明治四十二年六月十九日内務省衆甲第二七號)

衆議院議員ニシテ選舉訴訟若ハ當選訴訟ノ結果ニ依リ當選無効トナリタルトキ又ハ其選舉ニ關
スル罰則ニ依リ處罰セラレタル結果當選無効トナリタルトキニ於ケル補充方法其他ノ件ニ就キ
御照會ノ趣了承右ハ本省ニ於テモ御來旨ノ通省議決定致居候間右様御承知相成度此段及御回答
候也

一一 懲罰事犯ニ關スル件

(一) 議長宣告ニ依ルモノ

回次	宣告年月日	氏名	懲罰事犯會議年月日	結果
第十三回議會 <small>(特別)(通常)</small>	明治三十二年二月二十五日 <small>大正</small>	門馬尙經君	明治三十二年二月二十七日 <small>大正</small>	出席停止三日間
第三十一回議會	三、二、二四	綾部惣兵衛君	三、二、二八	謝辭朗讀
第三十六回議會 <small>(特別)</small>	四、六、九	武藤金吉君	四、六、九	出席停止一日間
第三十七回議會	四、二、七	佐々木安五郎君	四、二、二四	謹責
第三十九回議會 <small>(特別)</small>	六、七、一三	横山勝太郎君	六、七、一四	謹責
第四十四回議會	一〇、一、三七	鈴木富士彌君	一〇、二、一	出席停止五日間
同	一〇、三、一七	中野寅吉君	一〇、三、二三	謹責
同	一〇、三、一七	三木武吉君	一〇、三、二三	出席停止四日間
同	一〇、三、一八	横山勝太郎君	一〇、三、二三	出席停止三日間

回次	宣告年月日	氏名	懲罰事犯會議年月日	結果
同	大正一〇年三月二十四日	佐々木千秀君	大正一〇年三月二十五日	謝辭朗讀
第四十四回議會	一、一、二、三	中野寅吉君	一、一、二、五	出席停止三日間
同	一、一、二、一四	三木武吉君、木槍三四郎君、中野寅吉君	一、一、二、一六	出席停止二週間 十日間 三木君、木槍君、中野君
同	一、一、二、二三	清瀬一郎君	一、一、三、二	懲罰事犯ニ非ス
第四十六回議會	一、二、三、二七	樋口伊之助君	一、二、三、三	謹責
同	一、二、三、二六	佐々木安五郎君		會期終了ノ爲未決
第四十九回議會	一、三、七、一五	田淵豊吉君	一、三、七、一五	出席停止四日間
第五十回議會	一、四、二、三	猪野毛利榮君	一、四、三、一四	懲罰事犯ニ非ス
同	一、四、二、五	吉良元夫君、寺田市正君、原惣兵衛君、中山貞雄君、大石大君、佐藤重遠君	一、四、二、一〇 一、四、二、一九	出席停止二週間 同 同 同 出席停止二週間 同

【備考】

猪野毛利榮君懲罰事犯ノ件ハ大正十四年二月四日委員會ハ同君ヲ二週間ノ出席停止ヲ命スヘキモノト議決シ報告書ヲ提出シタルモ三月十四日ノ本會議ニ於テ再審査ニ付セラル

(二) 院議ニ依ルモノ

イ、議院ノ體面ヲ汚シタル爲

回次	動議決年月日	動議提出者	事犯者	懲罰事犯會議年月日	結果
第五回議會	明治二六年一月二日	鳩山和夫君 外三名	星亨君	明治二六年一月五日	出席停止一週間
同	二六、一一、二二	高田早苗君	同	二六、一一、二三	除名
第十三回議會	三一、一一、二六	井上角五郎君	田中正造君	三一、一一、二七	出席停止一週間
第二十五回議會	四二、三、二四	日向輝武君	藏原惟郭君	四二、三、二四	謝辭朗讀
第二十八回議會	四五、二、二三	齋藤宇一郎君	遠藤良吉君	四五、二、二〇	懲罰スヘキモノ ニ非ス
第四十二回議會	大正九、二、二四	古島一雄君 外一名	赤尾彦作君	大正九、二、一九	謹責
第四十三回議會	九、七、九	鶴澤總明君	永井柳太郎君	九、七、一四	出席停止五日間
同	九、七、二四	高見之通君	三木武吉君	九、七、二四	出席停止五日間
第四十五回議會	一一、二、二六	井上剛一君	西川嘉門君	一一、三、二	懲罰事犯ニ非ス

【備考】 赤尾彦作君懲罰事犯ノ件ハ委員長ノ報告ハ出席停止一週間ナリシモ謹責ト修正議決セリ

附録 一一 懲罰事犯ニ關スル件 (二)

ホ、無届闕席ノ爲

回次	動議議決年月日	動議提出者	事犯者	懲罰事犯會議年月日	結果
第一回議會	明治二年三月一日	高梨哲四郎君	陸奥宗光君	明治二年三月六日	懲罰事犯ニ非ストノ報告ヲ爲シ會期終了ノ爲未決

(謝辭參照)

藏原君ノ謝辭

本員が先刻而シテ此内契約ノ成リ立ツ間ニ於テハ二萬五千圓ノ金ガ何者ノ手ニ支出セラレタト云フコトハ我輩ハ知ツテ居ルノデアアル名前ヲ云フ必要ハナイ名前ヲ云ハヌデ分ラヌ様ナ不賢明ナル代議士ハ此處ニナイト信ズル吾々ハ併シナガラ其間ニ立ツタ處仲介者タル其尊敬スベキ政治家ガ其二萬五千圓ノ金ヲ受取ツタガ其一部分ヲ懷ニシタト云フコトハ斷ジテ言ハナイコトヲ諸君記憶セヨ併シナガラ其二萬五千圓ノ金ハ關カラ關ニ出デテ何レニカ彷徨シテ居ルト云フコトハ私ハ信ズルコトガ出來ヌカラ何處ニカ二萬五千圓ハ安全ニ歸著シテ居ルダラウト信ズル是ハ如何ナル趣意デアリマヌルカト述ヘタルハ本院ノ體面ヲ汚シタル放言ニシテ恐縮ニ堪エス茲ニ前言ヲ取消シ謹テ謝意ヲ表ス

綾部君ノ謝辭

本員が大正三年二月十四日ノ營業税法廢止法律案外九件地租條例中改正法律案ノ討議中議事時間延長ノ討論終結ノ動議ニ付議長ガ其ノ可否ヲ決セムトスル場合議員數十名ト共ニ議長席ニ進ミタルニ偶々演壇ノ下ニ既ニ何人ニカ破壞セラレタル投票函アルヲ認メ幾回モ之ヲ踏蹂リタルハ議院ノ體面ヲ汚シタルモノニシテ恐縮ニ耐ヘス謹テ茲ニ謝意ヲ表ス

齋藤君ノ謝辭

本月十二日本會議ニ於ケル決議案提出理由説明中予ガ爲シタル不穩ナル言動ハ議員ノ體面ヲ損シ議會ノ神聖ヲ汚シタルモノニシテ今ニ於テ之ヲ顧レハ洵ニ慚愧ノ至リニ堪ヘス茲ニ誠意ヲ披瀝シテ謹テ謝意ヲ表ス

紫安君ノ謝辭

大正七年二月二十一日衆議院本會議ニ於テ議員村松恆一郎君ニ對シテ爲シタル言辭ハ無禮ニシテ議會ノ品位ヲ損スルモノナルニ因リ茲ニ謹テ陳謝ス

佐々木君ノ謝辭

自分儀大正十年三月二十四日ノ會議中議長ノ發言禁止ノ命令ニ從ハス更ニ退場ヲ命セラレタルモ尙之ニ從ハス議場ノ秩序ヲ紊亂シタルハ議院ノ神聖ノ爲ニ恐縮ノ至リニ堪ヘス茲ニ謹テ謝辭ヲ表ス

一一 議決又ハ要求ニ對スル政府ノ覆牒

(一) 憲法第六十七條ニ依レル修正議決ニ對スル政府ノ覆牒

第一回議會 (明治二十四年二月二十四日)

衆議院ハ明治二十四年度歲計豫算ニ對シ確定議ノ前ニ當リ憲法上ノ手續ニ隨ヒ政府ニ同意ヲ求メタリ

政府ハ之ヲ審査スルニ修正案ハ官制ヲ變革セントスルノ點ニ於テ豫算議定權ノ區域ヲ超越シタルリ
法律ノ結果ニ關スル歲出及契約ノ義務ニ屬スル歲出ヲ廢除削減セントシタルハ政府ノ同意セサル所ナルノミナラス法律ノ正文ヲ以テ規定シタル事件ヲ豫算ニ依リテ變革セントスルハ又其ノ分界ヲ誤マレリ
況ンヤ削減セル金額ニ對シ政府ハ及フ丈ケ議院ノ議決ヲ敬重スルノ方向ヲ取ルコトヲ怠ラサルヘシト雖モ此ノ如キ豫算ノ變更ハ行政ノ責ニ當ルモノノ實施シ能ハサル所ナリ茲ニ議院ノ再考ヲ望ム

第四回議會 (明治二十六年一月十七日)

政府ハ憲法第六十七條ノ歲出ニ關スル衆議院ノ要求ニ對シ不同意ヲ表シタルニ拘ラス今復タ政府ノ再考ヲ求メラレタルモ政府ハ斷シテ不同意ヲ表セサルヲ得ス

同上 (同日)

憲法第六十七條ノ歲出ニ關シ政府ハ既ニ憲法ノ明許セル權能ニ依リ不同意ヲ表シタルニ拘ラス政府ノ再考ヲ請求セラレタルニ因リ政府ハ再應不同意ヲ表シタルニ今復五日間休會シテ政府ノ處置ヲ待ツヘシトノ決議通牒ニ接セリ政府ハ憲法保障ノ歲出ニ付不同意ノ理由竝政府自ラ處置スルコトナキ理由ハ既ニ之ヲ辯明シタル以上政府ノ意見ハ終始一貫更ニ異動ナキ事ヲ斷言ス

(二) 國務大臣出席ノ要求ニ對スル政府ノ覆牒

第一回議會 (明治二十三年十二月十八日)

昨日貴院ノ決議ニ依リ更ニ答辯御請求有之候處本大臣ニ於テハ既ニ昨日答辯シ盡キタリト信シ候ニ付御求メニ應シ難ク此段及回答候也

同上 (明治二十四年二月三日)

政府ハ豫算問題ノ範圍外ニ於テ工商諸會社ニ對スル保護政策ノ方針如何ノ質問ハ議院法第四十

八條ニ依リ主意書ヲ以テ質問アラシコトヲ望ム

政府ハ議院ト共ニ法律ノ明文ヲ遵守スルノ義務ヲ有ス依テ前陳ノ覆牒ニ及フモノナリ

第四回議會 (明治二十五年十二月七日)

二十五年十二月三日及同月五日ノ通牒ニ於テ貴院ハ國務大臣ノ出席ヲ請求セラレタリ國務大臣ハ何時ニテモ衆議院ニ出席スルノ權ヲ有スルカ故ニ其ノ出席ノ爲ニ特ニ貴院ノ請求ヲ煩ハスヲ要セス此段覆牒ニ及ヒ候也

第五回議會 (明治二十六年十二月十六日)

又十六年十二月十五日ノ通牒ニ於テ貴院ハ國務大臣ノ出席ヲ請求セラレタリ國務大臣ハ何時ニテモ各議院ニ出席ノ權ヲ有スルカ故ニ其ノ出席ノ爲ニ特ニ貴院ノ請求ヲ煩ハスヲ要セス此段覆牒ニ及ヒ候也

第六回議會 (明治二十七年五月二十八日)

鈴木充美君外二名提出判事ノ退職ニ關スル質問ニ對スル本大臣答辯ノ旨趣ハ曩ニ提出シタル答辯書ニ盡シタルコトヲ信スルヲ以テ更ニ議院ニ出席シテ辯明スルノ必要ヲ認メス

(三) 政府委員交換ノ要求ニ對スル政府ノ覆牒

附 一二 議決又ハ要求ニ對スル政府ノ覆牒 (二三)

第一回議會 (明治二十四年二月二日)

政府委員ハ其ノ權限内ニ於テ答辯シ又ハ答辯セサルノ自由ヲ有スル者ニ就キ政府ハ一ツノ政府委員カ議員ノ問ニ答辯セサルヲ以テ理由トナシ之ヲ交換スルコト能ハス

(四) 勾留中ノ議員ニ關スル決議及司法大臣ノ覆牒並通知

第一回議會 (明治二十三年十二月四日)

衆議院議員ニシテ會期前ニ逮捕セラレ開會ノ後仍勾留中ノ者ハ衆議院ノ許諾アルニ非サレハ引續キ勾留スルコトヲ得ス

右決議(議長ヨリ司法大臣ニ送付セリ)ニ對シ司法大臣ノ覆牒

本大臣ハ憲法ノ明文ニ從ヒ司法權ノ施行ヲ爲サシムルノ外已ニ著手シタル刑事訴追ヲ停止セシムルノ權ヲ有セス從テ他ノ權勢ノ諾否ニ因リ司法權ノ必要ナル處分ヲ張弛セシムルコト能ハス故ニ議會ノ議決ニ對シテ何等ノ關係ヲ有スルコトナシ召集ノ前日右勾留中ノ議員ニ對スル通知

衆議院議員當選者森時之助ハ當今委託物費消被告事件ニ付東京地方裁判所ニ於テ審問勾留中ニ有之候依ツテ此段及通知候也

明治二十三年十一月二十四日

司法大臣 伯爵山田顯義

衆議院書記官長 曾禰荒助殿

同上議員刑ノ宣告ヲ受ケタルトキノ通牒

去月二十四日付衆議院書記官長宛ヲ以テ及御通牒置候森時之助被告事件ハ本日落著依託金費消罪ニシテ刑法第三百九十五條ニ依リ重禁錮一箇年ノ刑ニ處セラレ候此段及御通知候也

明治二十三年十二月四日

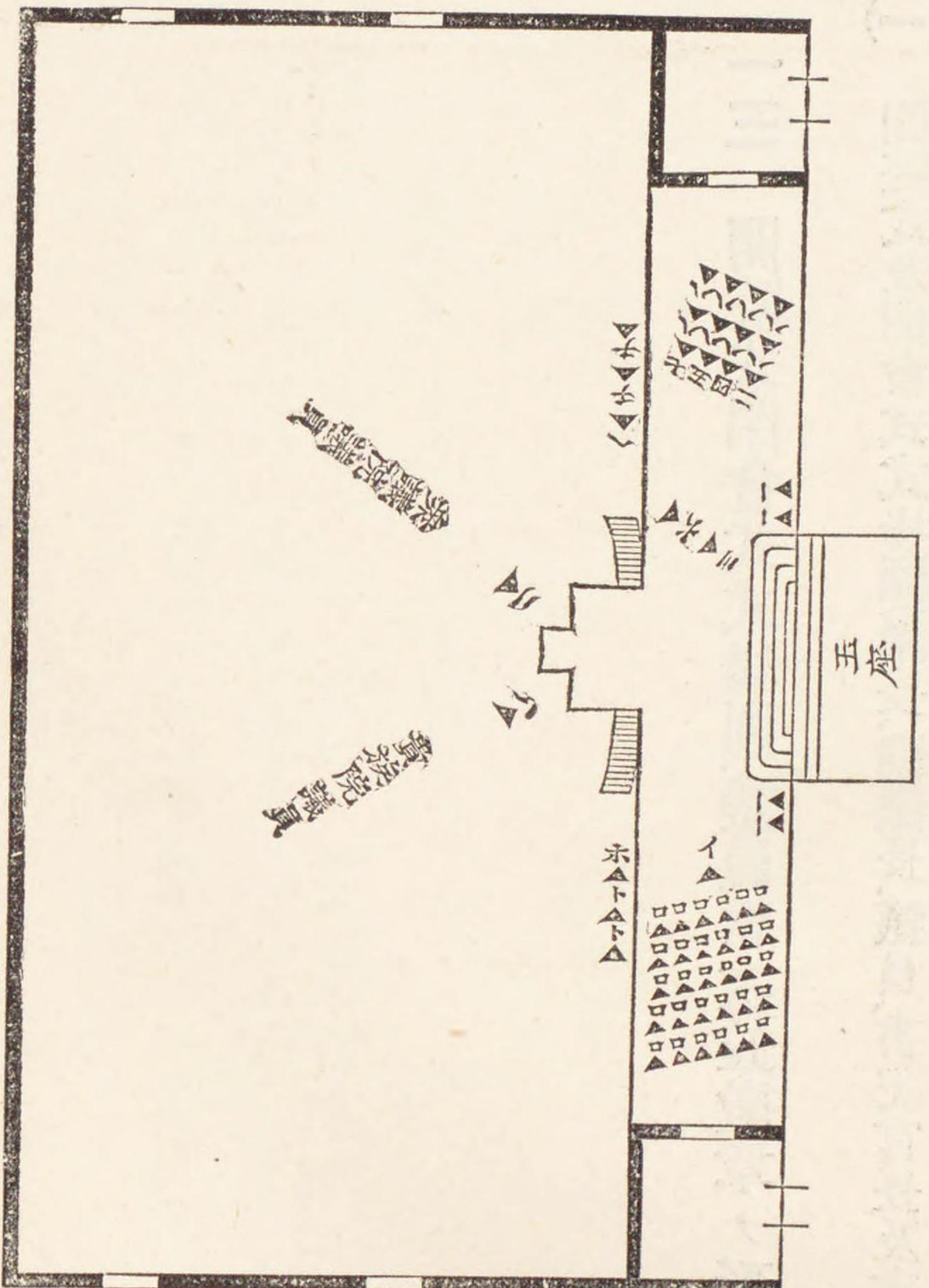
司法大臣 伯爵山田顯義

衆議院議長 中島信行殿

一三 開院式閉會式式場圖、議員席次並徽章ノ形狀
(一) 開院式及閉會式式場圖(議長、副議長、議員、書記官長及書記官ノ席次)

附錄 一三 開院式閉會式式場圖、議員席次並徽章ノ形狀 (一)

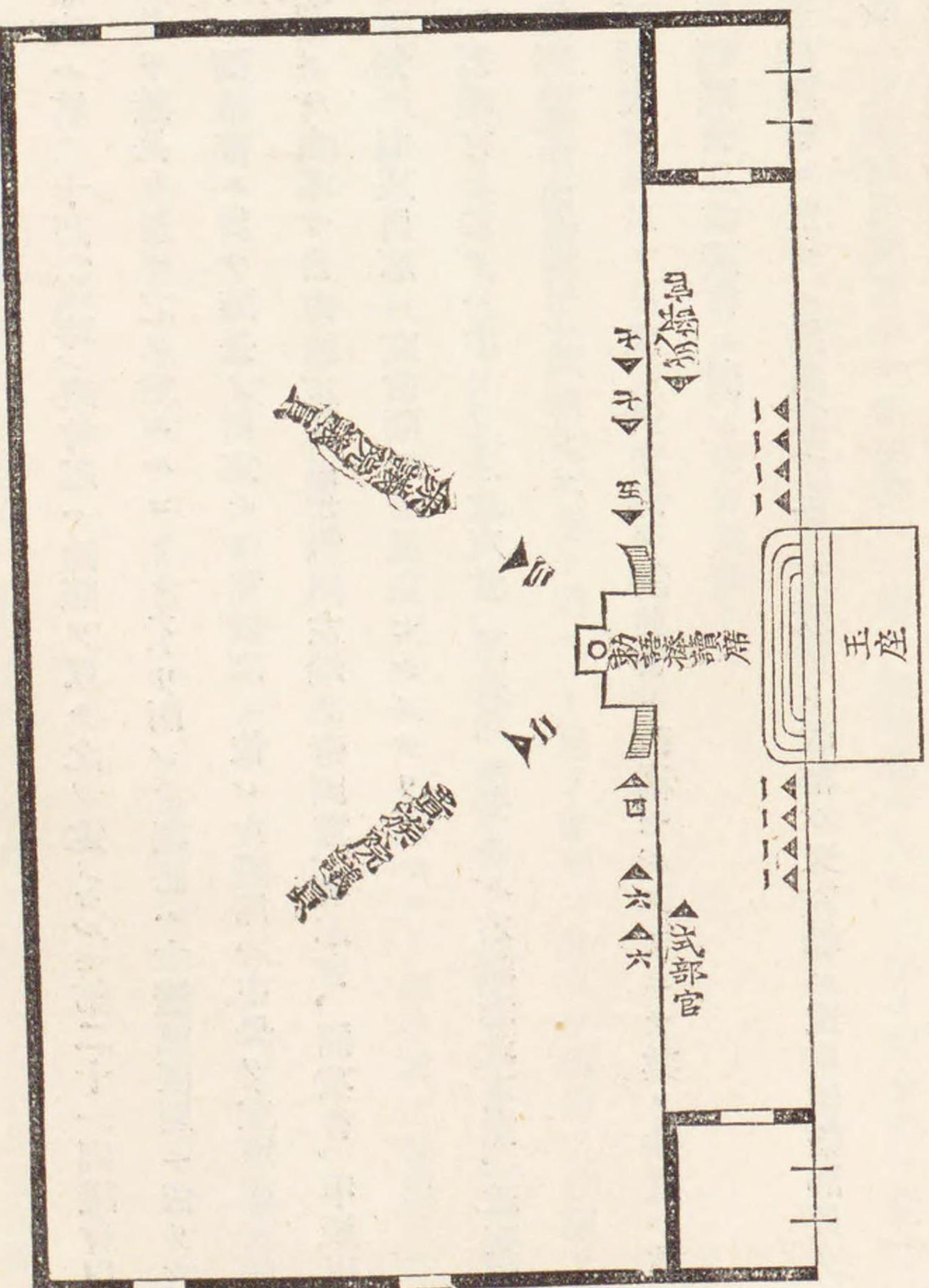
圖場式院開



- 【備考】
- 1 內閣總理大臣
 - 2 國務大臣
 - 3 樞密院議長
 - 4 樞密院副議長
 - 5 樞密顧問官
 - 6 貴族院議長
 - 7 貴族院議員
 - 8 貴族院書記官長
 - 9 衆議院議長
 - 10 衆議院書記官長
 - 11 貴族院書記官
 - 12 衆議院書記官
 - 13 衆議院書記官長
 - 14 貴族院書記官

- 一 親王、王
- 二 宮內大臣
- 三 部長官
- 四 侍從武官長
- 五 侍從長
- 六 式部次長
- 七 宮內次官
- 八 供奉高等官

圖場式會閉



- 一 國務大臣
- 二 貴族院議長
- 三 衆議院議長
- 四 貴族院書記官長
- 五 衆議院書記官長
- 六 貴族院書記官
- 七 衆議院書記官

(二) 議員ノ議席

議員ノ席次ハ第二十回(臨時)議會迄ハ抽籤ヲ以テ之ヲ定メタルモ第二十一回議會以後ハ衆議院規則ノ改正ニ依リ議長ニ於テ之ヲ定ムルコトナレリ而シテ議長ハ大體黨派別ニ依リ之ヲ定ム左ノ如シ
第二十一回議會ニ於テ議長ノ指定セル黨派別ニ依レル議席ハ中央ヲ立憲政友會、憲政本黨、議長席ニ對スル右端ヲ自由黨、無所屬組、同左端ヲ帝國黨、有志會、同政會、甲辰俱樂部所屬ノ議員席トシ無所屬議員席ハ左右兩端ニ混在セシメタリ

第二十二回議會ニ於テハ中央立憲政友會、議長席ニ對スル右端憲政本黨、政友俱樂部、同左端大同俱樂部、無所屬議員ノ議席トス

第二十三回議會ニ於テハ政友俱樂部ノ猶興會ト改稱セルノミニテ其ノ位置ハ前議會ニ同シ

第二十四回議會亦前議會ニ同シ

第二十五回議會ニ於テハ猶興會ハ更ニ又新會ト改稱シ又左端ニ戊申俱樂部員ヲ加ヘタルノ外異動ナシ

第二十六回議會ニ於テハ會期ノ央ヨリ大同俱樂部、戊申俱樂部ハ合同シテ中央俱樂部トナリ又憲政本黨ノ全部及又新會、戊申俱樂部一部ノ合同ニ依リ立憲國民黨ヲ組織セラレタルモ其ノ

位置ハ變更セス

第二十七回議會ニ於テハ無所屬員ノ位置左端立憲國民黨ノ後列ニ移リ又新會解散ノ爲其ノ部員ノ一部ハ立憲國民黨及中央俱樂部ニ、他ハ無所屬ニ入レリ即チ同會期ニ於テハ立憲政友會員ハ中央及右端ノ一部、中央俱樂部員ハ右端ノ一部、立憲國民黨及無所屬員ハ左端ヲ占ム

第二十八回及第二十九回(臨時)議會異動ナシ

第三十回議會ニ於テハ召集ニ際シ無所屬ノ有志同志會ヲ組織シ會期ノ前半ニ於テ國民黨ノ一半及中央俱樂部ハ無所屬團(純無所屬ト別ツ)ト爲リ會期ノ央ヨリ議席ノ位置ヲ變更シテ立憲國民黨ヲ左側、立憲政友會ヲ中央、無所屬ハ右側、同志會ヲ立憲政友會ト無所屬トノ間トシ又會期ノ後半ニ於テ立憲政友會ノ一部政友俱樂部ヲ組織セルヲ以テ其ノ位置ヲ立憲國民黨ト立憲政友會トノ間トセリ同志會ハ後ニ亦樂會ト改稱セラル

第三十一回議會ニ於テハ會期ノ始ニ於テ無所屬團ハ立憲同志會ヲ組織シ又亦樂會、政友俱樂部合同シテ假ニ亦政會ト名ケ次テ中正會ト改ム、立憲同志會、無所屬及中正會ノ位置ハ前會期ニ同シ

第三十二回(臨時)、第三十三回(臨時)、第三十四回(臨時)、第三十五回議會異動ナシ

第三十六回(特別)議會ニ於テハ中央ヲ立憲同志會、左側ヲ立憲國民黨、中央ト左側トノ間ヲ立憲

政友會、右側ヲ公友俱樂部、中央ト右側トノ間ヲ中正會所屬議員ノ議席ト爲セリ

第三十七回議會亦前議會ニ同シ

第三十八回議會ニ於テハ中正會解散シ公友俱樂部ハ公正會ト改稱シ、立憲同志會ハ中正會及公友俱樂部ノ一部ト合シテ憲政會ト改稱セシ外議席ニ於テ前議會ト變ルコトナシ

第三十九回(特別)議會ニ於テハ中央ヲ立憲政友會、左側ヲ立憲國民黨、右側ヲ憲政會、中央ト左側トノ間ノ上部ヲ維新會下部ヲ無所屬議員ノ議席ト爲セリ

第四十回議會ニ於テハ維新會ハ無所屬ノ議員ニ合シテ新政會ト改稱スルノ外議席ニ於テ變ルコトナシ只議會ノ半ニ於テ新政會ノ一部分レテ清和俱樂部ヲ組織シ其ノ議席ハ中央ト左側トノ間ノ上部右側ト爲セリ

第四十一回議會ニ於テハ清和俱樂部ヲ正交俱樂部ト改稱スルノ外議席ニ於テ變ルコトナシ

第四十二回議會ハ前議會ニ同シ

第四十三回(特別)議會ニ於テハ中央ヲ立憲政友會、左側下部ヲ無所屬俱樂部(交渉團體ト認メス)及無所屬トシ上部左端ヲ立憲國民黨、左端ト中央部ノ間上部ヲ庚申俱樂部、右側ヲ憲政會ノ議席ト爲セリ

第四十四回議會ハ前議會ニ同シ

第四十五回議會亦前議會ニ同シ

第四十六回議會ニ於テハ立憲國民黨全部及無所屬俱樂部、無所屬ノ各一部ヲ以テ革新俱樂部ヲ組織シタルモ議席ニ變動ナシ

第四十七回(臨時)議會ハ前議會ニ同シ

第四十八回議會ニ於テハ立憲政友會ノ大半去リテ政友本黨ヲ組織セル結果中央線ノ右側ヲ憲政會、其ノ右側ヲ政友本黨トシ、中央線ノ左側ヲ立憲政友會、其ノ左上部ヲ革新俱樂部、其ノ左端上部ヲ庚申俱樂部トシ下部ヲ無所屬ノ議席ト爲セリ

第四十九回(特別)議會ニ於テハ中央ヲ憲政會、右側ヲ政友本黨左側ヲ立憲政友會トシ政友會ノ左上部ヲ中正俱樂部、左端上部ヲ革新俱樂部、下部ヲ實業同志會及無所屬ノ議席ト爲セリ

第五十回議會ハ前議會ニ同シ

參看 八號、九號

(三) 議員及事務局員其ノ他ノ徽章

明治二十八年八月十六日勅令第百十八號ヲ以テ勳章又ハ勅令ニ依リ制定セラレタル各種ノ記章ニ類似ノ標章ハ公然佩用スルコトヲ得サルコトナリタルニ依リ同年十二月二日ヲ以テ左ノ徽章ニ

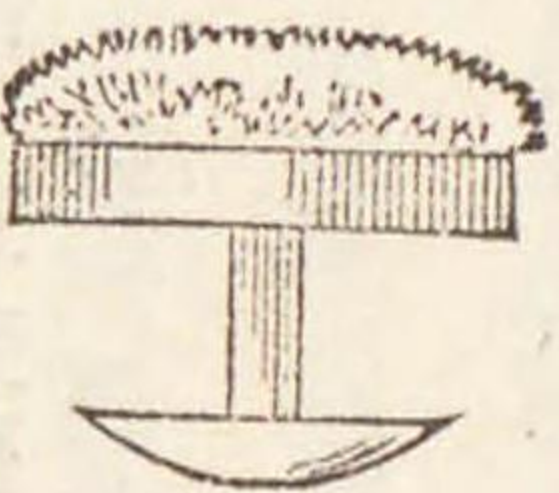
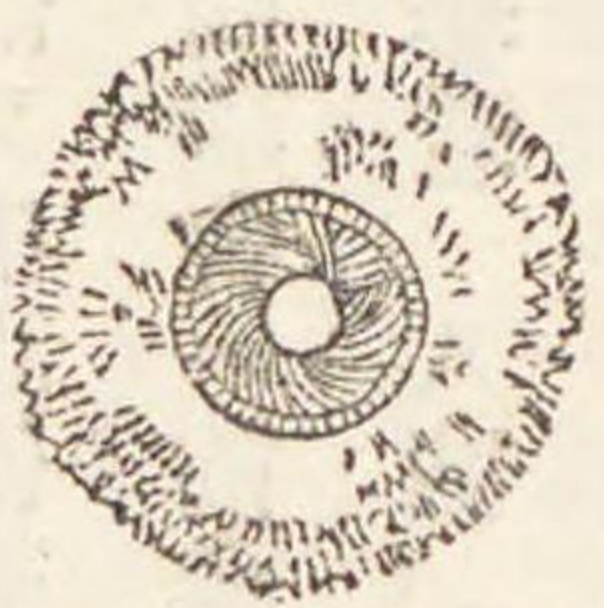
附錄

一三 開院式閉會式式場圖並徽章ノ形狀 (三)

改ム(爾來改正シタルコトアルモ現在ノ分ノミヲ掲ク)
○議員徽章

水色(心金モール)

側面



○事務局員徽章

高等官徽章

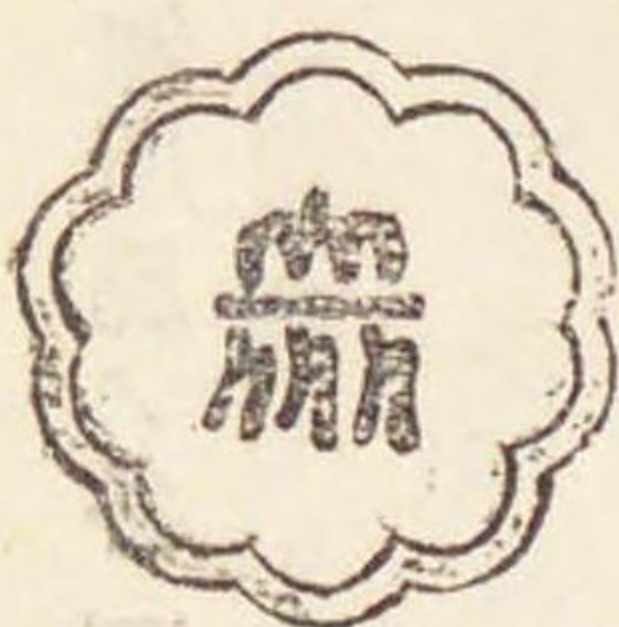
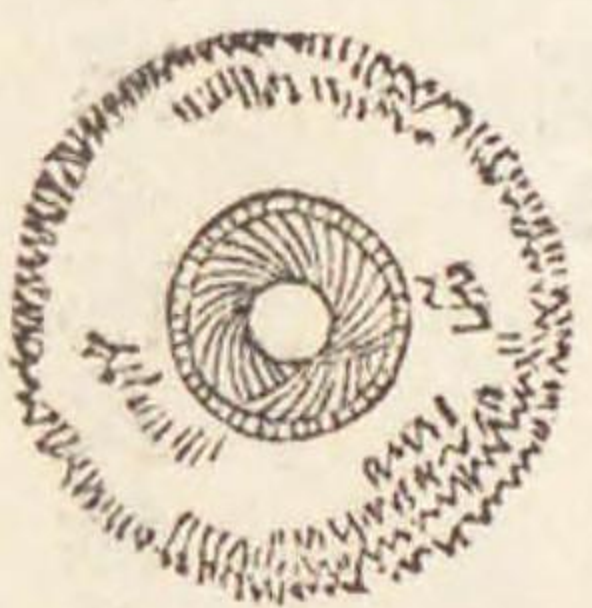
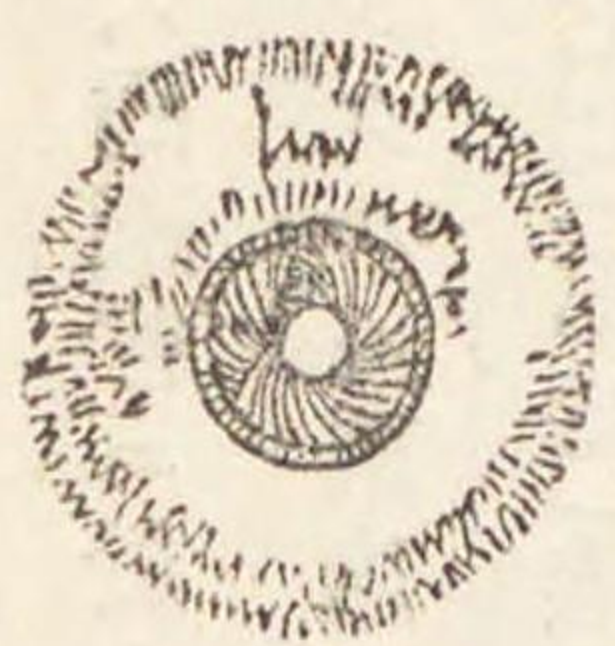
綠色(心金モール)

判任官徽章

濃綠色(心銀モール)

雇員徽章(第五十一回)
議會改定

綠黃色地銀色文字黑色(七寶燒)



○政府委員、各省高等官、判任官徽章

政府委員徽章(第十九回)
議會新設

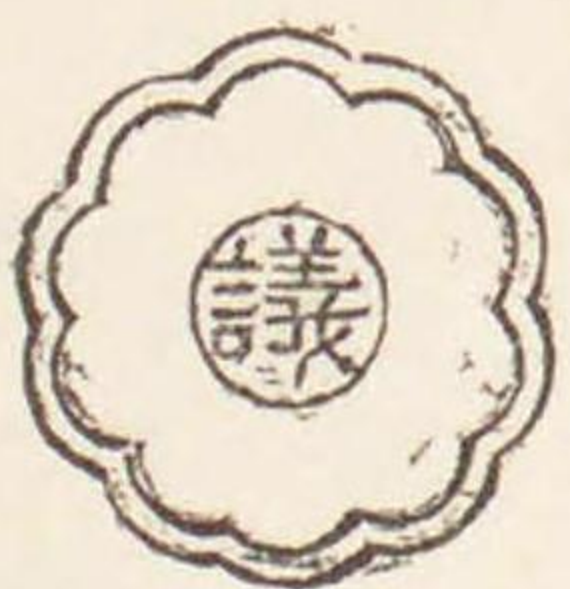
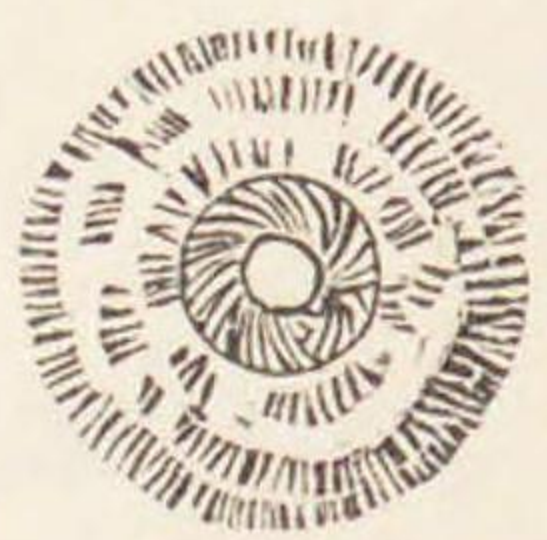
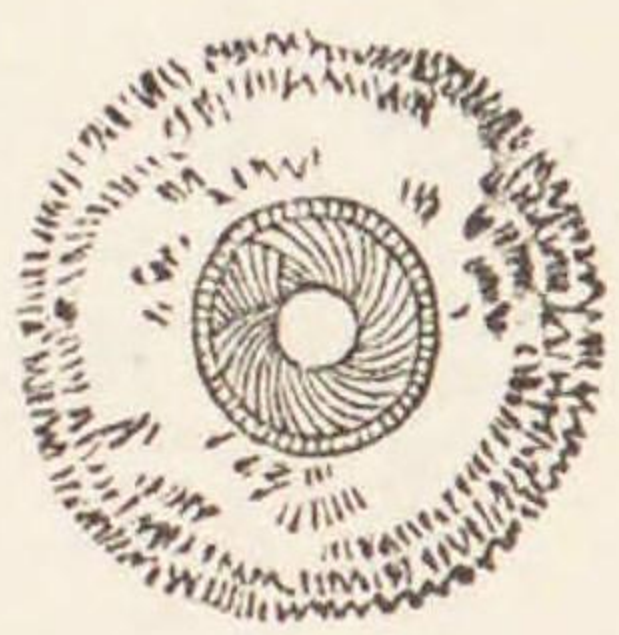
赤色(心金モール)

各省秘書官
內閣書記官徽章(第四十九回)
議會改定

樺色(心金モール)

官吏入場徽章(第五十一回)
議會改定

綠金色地水色文字黑色(七寶燒)



○新聞通信記者、院內通行徽章

傍聽章(第五十一回)
議會改定

花瓣紅色文字黑色(七寶燒)

甲種通章(第五十一回)
議會改定

綠金色地白色文字黑色(七寶燒)

乙種通章(第五十一回)
議會改定

綠茶褐色地銀色文字藍色(七寶燒)



一四 期日期間其ノ他ノ比較表

(一) 各會期ニ於ケル召集令ト召集期日及期間比較表

イ 通常及特別議會

回次	召集令公布期日	召集期日	期間	會期
第一回	明治二三年一月一日	明治二三年一月二五日	四六日	九九日
第二回(解散)	二四、一〇、九	二四、一一、二一	四三	三〇
第三回(特別)	二五、三、一九	二五、五、二	四四	四〇
第四回	二五、一〇、一三	二五、一一、二五	四三	九二
第五回(解散)	一六、一〇、一三	二六、一一、二五	四三	三三
第六回(特別(解散))	二七、三、三一	二七、五、一二	四二	一九
第八回	二七、一一、一一	二七、一二、二三	四一	九〇
第九回	二八、一一、一五	二八、一二、二五	四〇	九二

回数	召集令公布期日	召集期日	期	間	會	期
第十回	明治二年一月七日	明治二年二月二日		四五日		九〇日
第十一回(解散)	三〇、一一、一〇	三〇、一二、二一		四一		二
第十二回(特別解散)	三一、四、二	三一、五、一四		四二		二三
第十三回(特別解散)	三一、九、二八	三一、一一、七		四〇		九七
第十四回	三二、一〇、四	三二、一一、二〇		四七		九四
第十五回	三三、一一、八	三三、一二、二二		四四		九〇
第十六回	三四、一〇、二六	三四、一二、七		四二		九〇
第十七回(解散)	三五、一〇、二五	三五、一二、六		四二		二〇
第十八回(特別)	三六、三、二六	三六、五、八		四三		二四
第十九回(解散)	三六、一〇、二二	三六、一二、五		四四		一
第二十一回	三七、一〇、一九	三七、一一、二八		四〇		九〇
第二十二回	三八、一一、一三	三八、一二、二五		四二		九〇
第二十三回	三九、一一、一五	三九、一二、二五		四〇		九〇

第二十四回	四〇、一一、一二	四〇、一二、二五		四三		九〇
第二十五回	四一、一一、九	四一、一二、二二		四三		九〇
第二十六回	四二、一一、九	四二、一二、二二		四三		九〇
第二十七回	四三、一一、七	四三、一二、二〇		四三		九〇
第二十八回	四四、一一、一〇	四四、一二、二三		四三		九〇
第三十回	大正元年一月九日	大正元年一月二四日		四五日		九〇日
第三十一回	二、一一、一三	二、一二、二四		四一		九〇
第三十五回(解散)	三、一〇、二六	三、一二、五		四〇		一九
第三十六回(特別)	四、三、三〇	四、五、一七		四八		二一
第三十七回	四、一〇、五	四、一一、二九		五二		九〇
第三十八回(解散)	五、一一、一一	五、一二、二五		四四		三〇
第三十九回(特別)	六、五、二二	六、六、二一		四〇		二二
第四十回	六、一一、一〇	六、一二、二五		四五		九〇
第四十一回	七、一一、二二	七、一二、二五		四三		九〇

回数	召集令公布期日	召集期日	期間	會期
第四十二回(解散)	大正八年一月二二日	大正八年一月二四日	四日	六三日
第四十三回(特別)	九、五、一五	九、六、二九	四五	二八
第四十四回	九、一、一二	九、一三、二五	四三	九〇
第四十五回	一〇、一、一二	一〇、一三、二四	四二	九〇
第四十六回	一一、一、一一	一一、一三、二五	四四	九〇
第四十八回(解散)	一一、一、一四	一一、一三、二五	四一	三六
第四十九回(特別)	一三、五、一四	一三、六、二五	四二	二一
第五十回	一三、一、一一	一三、一三、二四	四三	九五
平均			四三・一一	

臨時議會

回数	召集令公布期日	召集期日	期間	會期
第七回	明治二七年九月二二日	明治二七年一〇、一五日	二三日	四日

第二十回	三七、三、二	三七、三、一八	一六	一〇
第二十九回	大正元年八月六日	大正元年八月二一日	一五日	三日
第三十二回	三、四、一七	三、五、四	一七	三
第三十三回	三、五、九	三、六、二〇	四二	七
第三十四回	三、八、二三	三、九、三	一一	六
第四十七回	一一、一、一二	一一、一二、一〇	二八	一三

【備考】

召集日ハ期間中ニ算入セス
 會期ハ開院式當日ヨリ會期末日即閉會式前日迄トス但シ第八回議會ノ會期末日ハ明治二十八年三月二十三日ニシテ閉會式ハ同月二十七日ニ行ハセラレタリ

(二) 解散ヨリ次ノ議會召集日迄ノ期日表

解散會議 回次	解散年月日	次ノ總 選舉回数	選舉ノ詔勅	總選舉期日	召集令公布期日	特別 會回次	召集日
第二回	明治二年五月二四、二二、二五	第二	明治二年五月二二日	明治二年五月二五日	明治二年五月二九日	第三回	明治二年五月二二日
第五回	二六、二、三〇	第三	二七、一、二七	二七、三、一	二七、三、三一	第六回	二七、五、一二

會解散 回次	解散年月日	次ノ總 選舉回数	選舉ノ詔勅	總選舉期日	召集令公布期日	特別 會回次	召集日
第六回	明治二年六月二日	第四	明治二年七月三日	明治二年九月一日	明治二年九月二日	第七回	明治二年十月五日
第十一回	三〇、一二、二五	第五	三一、一、一九	三一、三、一五	三一、四、二	第十二回	三一、五、二四
第十二回	三一、六、一〇	第六	三一、七、七	三一、八、一〇	三一、九、二八	第十三回	三一、一一、七
第十七回	三五、一二、二八	第八	三五、一二、二八	三六、三、一	三六、三、二六	第十八回	三六、五、八
第十九回	三六、一二、一	第九	三六、一二、二	三七、三、一	三七、三、二	第二十回	三七、三、一八
第三十五回	大正 三、一二、二五	第十二	大正 三、一二、二六	大正 四、三、二五	大正 四、三、三〇	第三十六回	大正 四、五、一七
第三十八回	六、一、二五	第十三	六、一、三〇	六、四、二〇	六、五、一二	第三十九回	六、六、二一
第四十三回	九、二、二六	第十四	九、三、六	九、五、一〇	九、五、一四	第四十三回	九、六、二九
第四十八回	一三、一、三一	第十五	一三、二、八	一三、五、一〇	一三、五、一四	第四十九回	一三、六、二五

(三) 本會議開會日數比較表

回次	貴族院	衆議院	回次	貴族院	衆議院
第一回	四八日	六三日	第二回(散)	二二日	二四日

第三回(別特)	二七日	二八日	第十七回(散)	三日	五日
第四回	四二日	四七日	第十八回(別特)	七日	一一日
第五回(散)	一一日	二〇日	第十九回(散)	二日	一日
第六回(別特散)	一七日	一七日	第二十回(時臨)	六日	五日
第七回(時臨)	三日	四日	第二十一回	一九日	二二日
第八回	四二日	五三日	第二十二回	二二日	二三日
第九回	四六日	四九日	第二十三回	一九日	二〇日
第十回	二七日	三三日	第二十四回	一九日	二〇日
第十一回(散)	二日	二日	第二十五回	二二日	二六日
第十二回(別特散)	一七日	一六日	第二十六回	一九日	二七日
第十三回(別特散)	四五日	四六日	第二十七回	二二日	二六日
第十四回	三三日	三四日	第二十八回	一五日	二六日
第十五回	一九日	二〇日	第二十九回(時臨)	二日	一日
第十六回	二六日	二九日	第三十回	一二日	一六日

附錄 一四 期日期間其ノ他比較表 (三)

回次	貴族院	衆議院	回次	貴族院	衆議院
第三十一回	一八日	二七日	第四十二回(散解)	一八日	一八日
第三十二回(時臨)	二	二	第四十三回(別特)	一八	二〇
第三十三回(時臨)	三	三	第四十四回	二七	三六
第三十四回(時臨)	三	五	第四十五回	三三	三五
第三十五回(散解)	六	一〇	第四十六回	三〇	三九
第三十六回(別特)	一一	一五	第四十七回(時臨)	一〇	九
第三十七回	一八	三六	第四十八回(散解)	七	四
第三十八回(散解)	二	四	第四十九回(別特)	一〇	一四
第三十九回(別特)	九	一二	第五十回	三三	三八
第四十回	一九	二九	平均	二六、〇	三二、二
第四十一回	二六	三〇			

【備考】

一、開會日數ノ計算ハ開院式當日ヨリ起算シ其ノ會期ノ末日迄トス

一、解散セラレタル議會、憲法第四十五條ニ依レル議會及臨時議會即チ第二、第三、第五、第六、第七、第十一、第十二、第十七、第十八、第十九、第二十、第二十九、第三十二乃至第三十六、第三十八、第三十九、第四十二、第四十三、第四十七、第四十八及第四十九回議會ハ平均日數中ニ算入セス

一、貴族院ノ平均モ亦前項ノ議會ハ平均日數中ニ算入セス

(四) 會期終了ト閉會式迄ノ期間比較表

回次	會期終了	閉會式	期間
第一回	明治 二四、年、月、日 二四、三、七	明治 二四、年、月、日 二四、三、八	一日
第二回	(二十四年十二月二十五日解散)		
第三回(特別)	二五、六、一四	二五、六、一五	一日
第四回	二六、二、二八	二六、三、一	一日
第五回	(二十六年十二月三十日解散)		
第六回(特別)	(二十七年六月二十日解散)		
第七回(臨時)	二七、一〇、二四	二七、一〇、二二	(會議終了ニ先ツ コト二日)
第八回	二八、三、二三	二八、三、二七	四日

附錄 一四 期日期間其ノ他比較表 (四)

回数	會期	終了	閉會式	期間
第九回		明治二年 月 日 二九、三、二八	明治二年 月 日 二九、三、二九	—
第十回		三〇、三、二四	三〇、三、二五	—
第十一回	(三十年十二月二十五日解散)			—
第十二回(特別)	(三十一年六月十日解散)			—
第十三回(特別)		三一、三、九	三一、三、一〇	—
第十四回		三三、二、二三	三三、二、二四	—
第十五回		三四、三、二四	三四、三、二五	—
第十六回		三五、三、九	三五、三、一〇	—
第十七回	(三十五年十二月二十八日解散)			—
第十八回(特別)		三六、六、四	三六、六、五	—
第十九回	(三十六年十二月十一日解散)			—
第二十回(臨時)		三七、三、二九	三七、三、三〇	—
第二十一回		三八、二、二七	三八、二、二八	—

第二十二回		三九、三、二七	三九、三、二八	—
第二十三回		四〇、三、二七	四〇、三、二八	—
第二十四回		四一、三、二六	四一、三、二七	—
第二十五回		四二、三、二四	四二、三、二五	—
第二十六回		四三、三、二三	四三、三、二四	—
第二十七回		四四、三、二二	四四、三、二三	—
第二十八回		四五、三、二五	四五、三、二六	—
第二十九回(臨時)	大正元、八、二五		大正元、八、二六	—
第三十回		二、三、二六	二、三、二七	—
第三十一回		三、三、二五	三、三、二六	—
第三十二回(臨時)		三、五、七	三、五、八	—
第三十三回(臨時)		三、六、二八	三、六、二九	—
第三十四回(臨時)		三、九、九	三、九、一〇	—
第三十五回	(三十二年十二月二十五日解散)			—

回次	會期終了	閉會式	期
第三十六回(特別)	明治四年六月九日	明治四年六月一日	一
第三十七回	五、二、二八	五、二、二九	一
第三十八回	(六年一月二十日) 五日解散		
第三十九回(特別)	六、七、一四	六、七、一五	一
第四十回	七、三、二六	七、三、二七	一
第四十一回	八、三、二六	八、三、二七	一
第四十二回	(九年二月二日) 十六日解散		
第四十三回(特別)	九、七、二八	九、七、二九	一
第四十四回	一〇、三、二六	一〇、三、二七	一
第四十五回	一一、三、二五	一一、三、二六	一
第四十六回	一二、三、二六	一二、三、二七	一
第四十七回(臨時)	一二、一二、二三	一二、一二、二四	一
第四十八回	(十三年一月三日) 十一日解散		

第四十九回(特別)	一三、七、一八	一三、七、一九	一
第五十回	一四、三、三〇	一四、三、三一	一

(備考)

第八回議會ニ於テハ會期終了ノ翌日日曜日ニ相當シタル爲順延トナリ更ニ事故ノ爲三日間延引トナレリ

又第七回臨時議會ニ於テハ議案ヲ議了セル爲會期中ナルニ拘ラス閉會式ヲ行ハセラル第

二十七回議會ノ會期終了日ハ春季皇靈祭ニ付其ノ前日ヲ以テ議事ヲ終結シタリ

第三十一回議會ハ三月二十三日ヨリ會期終了當日迄停會ヲ命セラレ其ノ儘閉會トナレリ

(五) 臨時議會一覽表

回次	召集令公布年月日	召集年月日	開院式	閉會式	會期	備考
第七回	明治二年七月二七	明治二年七月二七	明治二年七月二七	明治二年七月二七	七日	明治二十七年戰役(第二次伊藤内閣)
第二十回	三七、三、二二	三七、三、二二	三七、三、二二	三七、三、二二	一〇	明治三十七年戰役(第一次桂内閣)
第二十九回	大正元、八、二六	大正元、八、二六	大正元、八、二六	大正元、八、二六	三	明治天皇大喪費(第二次西園寺内閣)
第三十二回	三、四、一七	三、五、四	三、五、五	三、五、八	三	昭憲皇太后大喪費(第二次大隈内閣)

附錄 一四 期日時間其ノ他比較表 (五)

回数	召集令公布年月日	召集年月日	開院式年月日	閉會式年月日	會期	備考
第三十三回	明治三五年九月三	明治三五年六月六	明治三五年六月六	明治三五年六月九	七 海軍補充費 (第二次大隈内閣)	
第三十四回	三、八、三	三、九、三	三、九、三	三、九、四	六 大正三、四年事件 (第二次大隈内閣)	
第四十七回	一、二、一、二	一、二、一、二	一、二、一、二	一、二、一、二、三、四	一三 關東地方大震災 (第二次山本内閣)	

(六) 停會一覽表

回数	詔書年月日	回数	日數	詔書傳達ノ時期	備考
第三回	明治二十五年五月十六日	一	七日	本會開議中 會場前一金庫中 委員會日停會中	中村彌六君外一名提出選舉干渉ニ關スル決議案議決ノ際(第一次松方内閣)
第四回	同 二十六年一月二十三日	一	十五日	"	豫算案ノ修正ニ關シ聖斷ヲ仰カムトシ河野廣中君外三名ヨリ上奏案ヲ提出シタル際(第二次伊藤内閣)
第五回	同 年三月十九日 五月二十九日	二	十四日	"	安部井馨根君ヨリ現行條約履行建議案提出ノ際(第二次伊藤内閣)
第九回	同 二十九年二月十五日	一	十日	"	佐々友房君ヨリ内閣處決ニ關スル決議案提出ノ際(第二次伊藤内閣)
第十二回	同 三十一年六月七日	一	三日	"	増稅法律案ニ反對セル際(第三次伊藤内閣)
第十五回	同 三十三年二月二十七日 三月九日	二	五日	"	貴族院ニ於テ増稅案ニ反對セル際(第四次伊藤内閣)
第十七回	同 三十五年五月十六日 七月二十日	二	七日	"	海軍擴張ノ財源ヲ地租ニ資ラムトスルニ反對セル際(第一次桂内閣)

第十八回	同 三十六年五月三十一日	一	三日	海軍擴張費ニ關シ交渉ノ際(第一次桂内閣)
第三十回	同 大正二年一月二十一日 二月十五日	三	十五日 九日	第一次ノ停會ハ新ニ組織セラレタル第二次桂内閣ノ豫算刷成ノ際(第二次伊藤内閣)
第三十一回	大正三年 三月二十三日	一	三日	犬養毅君外五名ヨリ上奏案提出ノ際(第一次山本内閣)

【備考】
第十七回議會第二次ノ停會ハ十二月二十一日ヨリ二十七日ニ至ル七日間ナリシモ其ノ詔勅ハ前日發セラレタリ

(七) 會期延長一覽表

回数	次	延長日數	内閣
第一回	第一次	九日	山縣内閣
第二回	第二次	二日	伊藤内閣
第三回	第三次	二日	伊藤内閣
第九回	特別(散)	七日	第二次 山縣内閣
第十二回	特別(散)	七日	第三次 伊藤内閣
第十三回	特別(通常)	七日	第二次 山縣内閣

附錄 一四 期日期間其ノ他比較表 (六、七)

回数	次	延長日數	内閣
第十四回	特別	四日	第二次 山縣内閣
第十八回	特別	三日	第一次 桂内閣
第三十四回	臨時	三日	第二次 大隈内閣
第三十九回	特別	一日	寺内内閣
第四十七回	臨時	三日	第二次 山本内閣
第五十回		五日	加藤(高)内閣

(八) 解散一覽表

回数	次	詔書年月日	詔書傳達ノ時期	備考
第二回		明治二年 二月 二四、二二、二五	本會議前本會議中休憩中散會後停會中	軍艦製造、製鋼所設立、鐵道買收及速成、監獄費國庫支辨等ノ新事業費ヲ否決シ總豫算ニ對シ削減ヲ加ヘムトシタル爲(理由發表)(第一次松方内閣)
第五回		二六、一二、三〇		安部井磐根君ヨリ現行條約履行建議案提出セラレタル爲(理由發表)(第二次伊藤内閣)
第六回		二七、六、二		片岡健吉君外五名提出官紀振肅ノ上奏案ヲ可決上奏シタル爲(理由發表)(第二次伊藤内閣)

第十一回		三〇、一二、二五		鈴木重遠君外二十七名ヨリ内閣不信任ニ關スル決議案議事中(第二次松方内閣)
第十二回		三一、六、一〇		地租増徴案否決ノ爲(第三次伊藤内閣)
第十七回		三五、一二、二八		地租増徴ニ依ル海軍擴張ノ計畫ニ反對シタル爲(第一次桂内閣)
第十九回		三六、一二、一一		内閣ヲ彈劾スル開院式 勅語奉答文案議決ノ爲(第一次桂内閣)
第三十五回	大正	三、一二、二五		二個師團増設ノ計畫ニ反對シタル爲(理由發表)(第二次大隈内閣)
第三十八回		六、一、二五		武富時敏君外六名ヨリ内閣不信任ニ關スル決議案議事中(理由發表)(寺内内閣)
第四十二回		九、二、二六		武富時敏君外六名提出衆議院議員選舉法中改正法律案議事中(理由發表)(原内閣)
第四十八回		一三、一、三一		濱田國松君外三名提出思想惡化ニ關スル緊急質問ニ對スル答辯中(理由發表)(清浦内閣)

大正十四年十一月十三日印刷
大正十四年十一月十五日發行

衆議院事務局

東京市京橋區日吉町十番地

印刷者 渡邊爲藏

東京市京橋區日吉町十番地

印刷所 民友社

明治二十一年三月五日發行

東京市京橋區日吉町十番地

明治二十一年三月五日發行

東京市京橋區日吉町十番地

東京市京橋區日吉町十番地

明治二十一年三月五日發行

東京市京橋區日吉町十番地

